

# サイドブロック 〈プレキャスト小口止ブロック〉



NETIS登録  
QS-140005-VE

宮崎県  
新技術

特許登録第6151929号

平均明度  
※6.0

輝度の標準偏差  
30

※ハツリ模様に限る。

小口止め工をプレキャスト化  
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

## ●特長

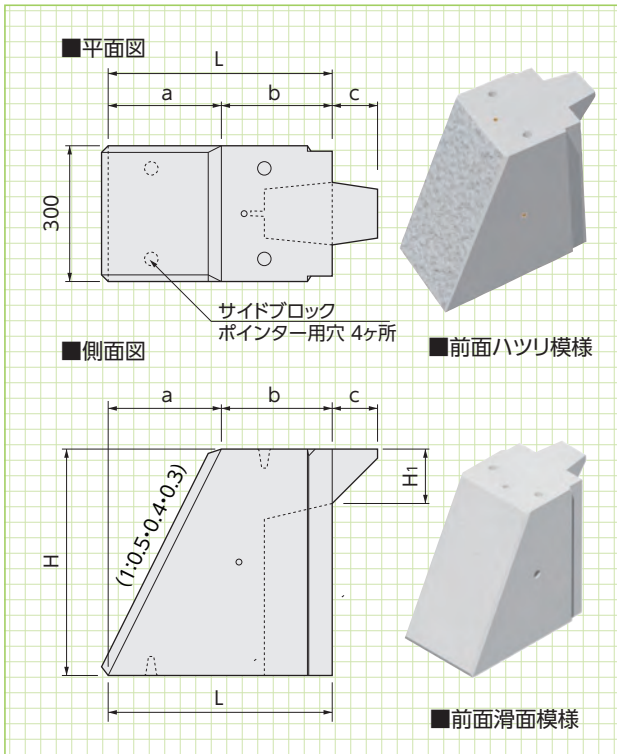
- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。



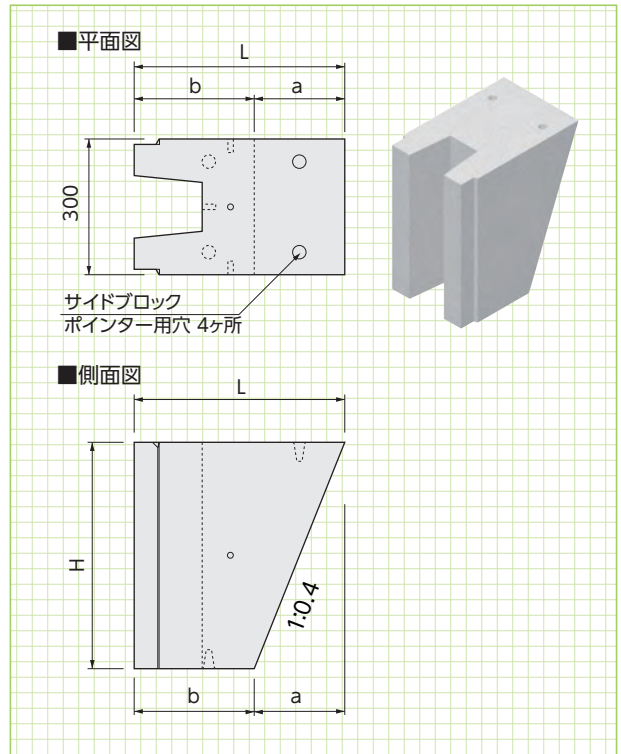
## 基本形状図

形状・寸法  
重量

### 前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



### 背面用ブロック



## ■寸法・重量表

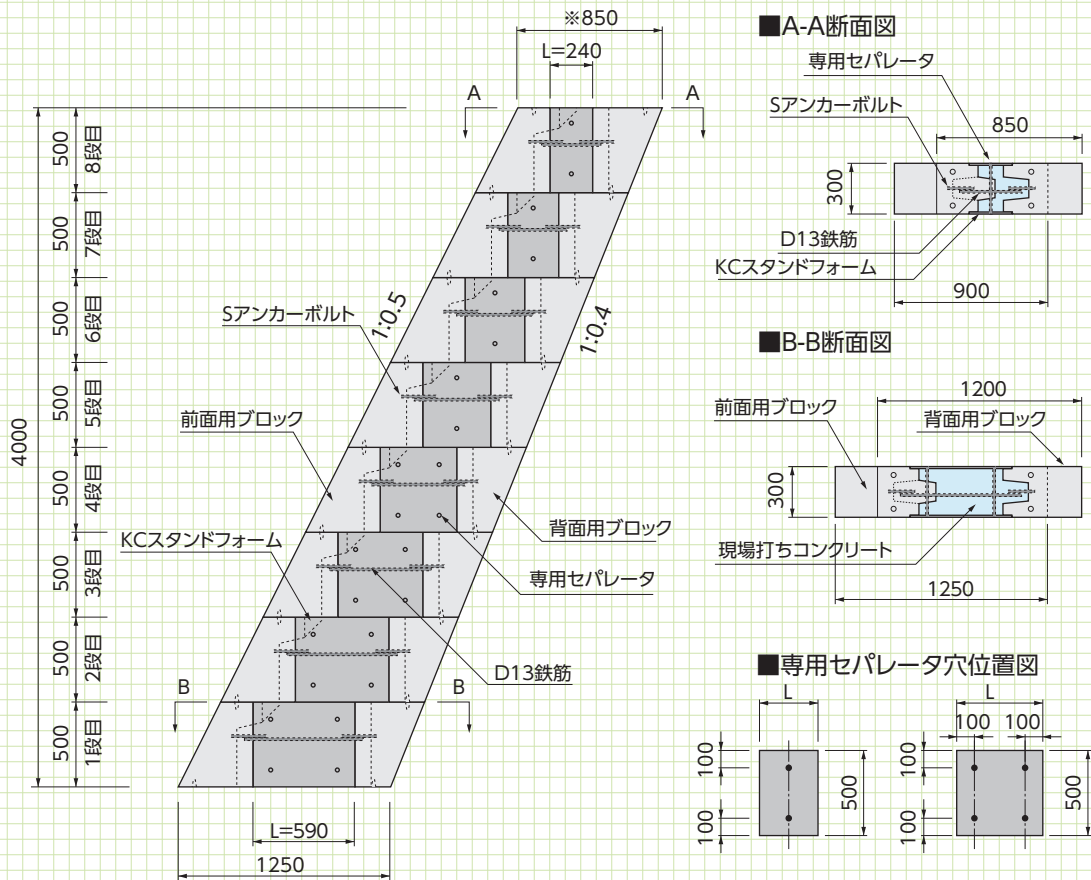
| 呼称      | 寸法(mm) |     |     |     |     |                | 参考重量(kg) |
|---------|--------|-----|-----|-----|-----|----------------|----------|
|         | L      | a   | b   | c   | H   | H <sub>1</sub> |          |
| 3分用     | 485    | 150 | 335 | 100 | 500 | 120            | 130      |
| 4分用     | 485    | 200 | 285 | 100 | 500 | 120            | 121      |
| 前面用(5分) | 485    | 250 | 235 | 100 | 500 | 120            | 113      |
| 背面用(4分) | 465    | 200 | 265 | —   | 500 | —              | 103      |

※3分用ブロックは反転して背面用としても使用できます。



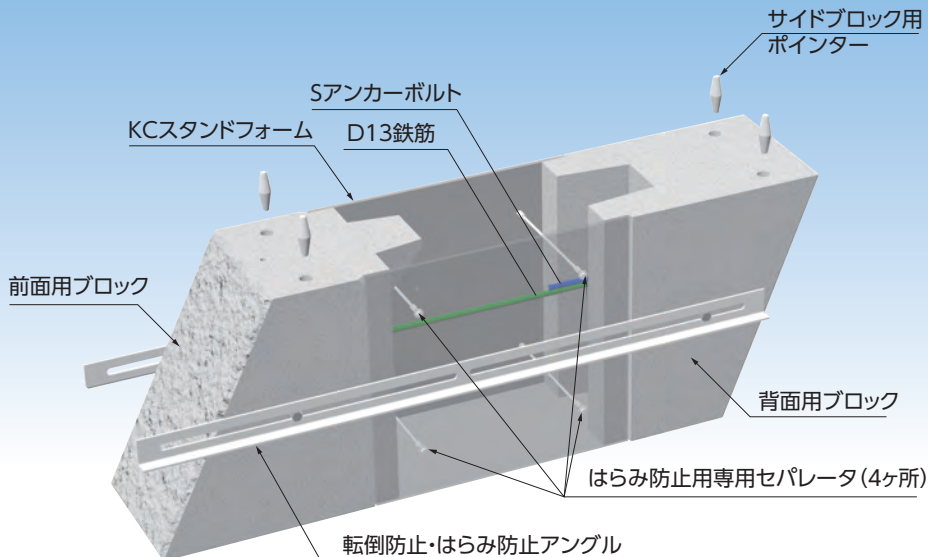
標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないようにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工断面図

側溝関連

道路関連

管渠類

擁壁類

河川関連

基礎類

構造図

貯水槽関連

景観関連

その他